

# 令和8年度 第79回練馬区民スポーツ大会 軟式学童野球競技会

## 試合方法および注意事項

### 1. 試合方法

原則として、本年度『公認野球規則』および『競技者必携』の規則に準ずる。

- (1) 参加チームは試合開始予定の**30分前までを厳守**とし打順表4枚(直筆)を本部に提出する。
- (2) 試合は**6イニング制**とするが、1時間30分を超えたら新しいイニング(次の回の表・裏の攻撃)に入らない。決勝戦も同様とする。
- (3) 試合終了時に同点の場合は、**特別延長戦(無死1塁2塁、継続打順)**を行い**最大2イニング延長**し勝敗を決する。尚かつ勝敗が決しない場合は、両チームの最終メンバー各9名による抽選にて決する。  
※特別延長戦では通常の延長と同様に規則によって認められる選手交代は許される。
- (4) コールドゲームは、**3回12点差、4回10点差、5回以降7点差**とする。降雨および日没の場合は、当該審判が協議のうえ取扱いを決定し、4イニング終了で試合成立とする。
- (5) 試合進行は、審判員の指示に従うこと。会場により特設ルールを設ける場合は、審判員の権限においておこなう。
- (6) 投手に対するタイムについては同一イニングに1回まで可能とし、2回目は投手交代とする。
- (7) 指名打者ルールを使用することができる。ただし、必ずしも指名打者を指名しなくてよいが試合前に指名しなかったときは、その試合で指名打者を使うことはできない。  
※野球規則5.11(a)のみ適用、5.11(b)(二刀流)は採用しない。
- (8) ボークについては当該試合審判員が判定する。
- (9) ベースコーチは登録選手のみとする。
- (10) 監督、コーチのユニフォームは、選手と同色・同意匠とすること。ただし、合同チームでの出場は各チームのユニフォームでの出場は認めるが背番号の重複は認めない。  
また、スコアラーは私服とし(アマチュアスポーツに相応しいスポーティーな服装)、所属チームの帽子を着帽し必ずスコアラーをつけること。メガホンは監督またはコーチのみの使用し、1チーム1個とする。
- (11) 選手はユニフォームを着用し、試合中は必ず着帽のこと。背番号については正規の番号を付けること。キャッチャーは、マスク、レガース、プロテクター、**ファールカップ**及びヘルメットを着用すること。ボールボーイも同様にヘルメットを着用する。また、打者・走者・ベースコーチも危険防止のため必ずヘルメットを着用すること。
- (12) シートロックは行わない。
- (13) ベンチの抽選番号の若い方を1塁とし、先攻後攻はジャンケンによって決める。但し、決勝戦のベンチについては、ジャンケンによって決める。
- (14) 金属製バットはJSBBマーク入り以外の物の使用は認めない。  
また、それぞれの試合会場のルールに従うこと。
- (15) 金属製ポイントのスパイクの使用は、禁止する。
- (16) 試合球はナガセケンコーJ球とし、各チーム2個の試合球を打順表と一緒に提出すること。
- (17) 投手の投球数制限については、**6年生、5年生は70球/日、4年生以下は60球/日**とする。
- (18) 総合グラウンドでの外野守備選手は(A面ライト、B面レフト)総合グラウンドにて用意するヘルメットを着用する事。

### 2. 試合の棄権

やむを得ず試合を棄権する場合は、チーム責任者が以下の通り連絡を行うこととする。

- (1) 試合の前日までに棄権が決まった場合は、大会副委員長へ電話にて連絡する。
- (2) 前日までに連絡できなかった場合及び試合当日に棄権が決まった場合は、チーム責任者が試合開始30分前までに会場に出向き本部に申し出る。

### 3. 注意事項

- (1) 品位を欠くような応援や言動は一切行ってはならない。特に、相手チームや審判員に対してのヤジは厳禁。注意を受けたにも関わらず、続けた場合は審判員の判断によりその該当者を試合から除外することもある。
- (2) ベンチ内に携帯電話、カメラを持ちこまない。(スコア管理のスマホ等は認めるが、通信、撮影等の行為は認めない)
- (3) 応援は**声援と拍手に限る**。相手選手のプレー(特にボーク)に対し声高にアピールしないこと。
- (4) 出場選手は、スポーツ保険に加入していること。**(なお、試合中および球場への往復の事故について主催者側は一切の責任を負わない。)**

#### 【連絡先】

山縣(携帯) 090-4949-0577

安部(携帯) 090-3205-1047

伊藤(携帯) 080-5067-8801

久芳(携帯) 090-1602-0189